

令和2年度 介護保険事業計画に係る取組と目標の達成事業について

市町村名
笠岡市

1 自立支援、介護予防又は重度化防止に関する取組と目標

分類	項目名	目標(数値等)	実施内容・実績	自己評価	課題、今後の方針等
重度化防止	地域ケア個別会議	年間6回	新型コロナウイルスの関係で、4月は中止とし、感染予防対策を行いながら、5回開催した。5回のうち、1回は事例検討する中で、重度化しやすい“肺炎の予防とリハビリ”について研修会を開催した。	介護支援専門員だけでなく、通所事業所、訪問介護、福祉用具の担当者など多職種が参加できる場として定着した。	福祉用具のみ利用している事例、困難事例等を中心に自立支援のための支援方法を検討する。
介護予防	健康ポイント事業	参加者数1,200人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	感染拡大防止措置として、適切に対応した。	新型コロナウイルス感染防止対策を徹底する中で、歩くことをメインに健康づくりに対応した事業構築を行い実施する。
介護予防	訪問型サービスA	サービス利用者40人	サービス利用者数11人となった。	新規利用者があるものの、介護度の変更により他のサービスへ切替えを行うケースもあり、目標が達成できなかった。	従前相当サービスからの振替が進んでいない。サービス提供者の研修充実により、よりサービスの内容・質の向上を図る。
重度化防止	短期集中通所型サービスC	サービス利用者20人	前年度からの継続利用者4人で、新規利用者は0人となった。	事業の対象者が事業対象者や要支援者であるため、集中的にリハビリを必要とするケースが少ない。	事業対象者を要介護1、2までに拡大すべきであると考えが、現状では市の持ち出しとなるため、実施しにくい。
介護予防	健康長寿愛らんど事業	延べ利用者数3,230人	延べ利用人数1,698人となった。	島しょ部高齢者の減少及び新型コロナウイルス感染防止対策のため、事業が中止となり目標を達成できなかった。	引き続き、事業の周知に努めるとともに、以前参加していたが、現在参加していない方の実態把握を進め、島しょ部高齢者の健康維持に努める。
介護予防	生きがい活動支援通所事業	年間延べ利用人数1,160人	延べ利用人数746人となった。	登録者数の減少及び新型コロナウイルス感染防止対策のため、事業が中止となり、目標を達成できなかった。	自立支援・重度化防止を推進するため、対象者の実態把握に努めるよう、委託先である社会福祉協議会と協議する。
介護予防	介護ポイント事業	参加者数100人	参加者数43人となった。コロナウイルス感染予防により、活動を中止した。	介護ポイント事業の参加者は、少しずつではあるが増加しているが、コロナウイルス感染予防により、今後の活動の見通しが立たない。	コロナウイルス感染状況により、受け入れ事業所や医療機関と協議し、活動の開始を判断する。
介護予防	いきいき百歳体操	月間参加者数4,700人	月間参加者数2,161人となった。	令和2年8月頃までは、新型コロナウイルスへの警戒と感染防止対策のため、活動を中止する会場が多く目標を達成できなかった。	既存箇所の継続とともに、新規箇所の開始を目指し、未実施地区への働きかけを行う。新型コロナウイルス感染防止に配慮した運営方法について、地区の運営者に周知した上で運営を行っていく。

2 介護給付の適正化に関する取組と目標

分類	項目名	目標(数値等)	実施内容・実績	自己評価	課題、今後の方針等
給付適正化	要介護認定の適正化	合議体間の平準化	6か月ごとに合議体の編成替えを行った。認定調査チェック項目について、調査員間の平準化を図った。	認定平準化の促進につながった。	現状、大きな課題はないと考えるが、認定調査の平準化と主治医意見書の平準化を図るために、医師会との連携を引き続き図る。
給付適正化	ケアプランの点検	80件	主任介護支援専門員により、要介護・要支援のプラン点検を抽出により実施した。総数 81件	介護保険事業計画上の目標(80件)については達成している。	実施件数の増とともに、他職種協働の地域ケア個別会議も活用しながら、対象者の自立支援に資するよう、内容の向上を求める。
給付適正化	住宅改修等の点検	330件	全件について、事前審査を実施した。事後申請後の確認は、建築技師の協力を得て実施した。件数 287件	適切な住宅改修を実施することができた。	引き続き、全件事前審査の実施と事後申請への建築技師の協力を求め、適正給付に努める。
給付適正化	福祉用具の購入・貸与調査	370件	福祉用具の購入については、全件事前審査を実施した。件数 244件 福祉用具貸与については、主任介護支援専門員により、例外給付について指導を行った。件数 92件	目標を達成し、適正な給付を実施することができた。	引き続き、福祉用具購入の全件事前審査を実施し、例外給付についても適正な給付となるよう指導を行う。
給付適正化	縦覧点検・医療情報との突合	70件	国保連に委託し、31件の請求に関する疑義を発見することが出来た。	目標を達成し、請求等の是正を図ることができた。	引き続き国保連に委託して、医療情報との突合を実施する。
給付適正化	介護給付費通知	7,050件	8月と2月にサービス利用実績に基づき、全件通知を行った。件数 6,872件	ほぼ目標を達成することができた。	引き続き、給付実績に基づき、利用者に通知することにより、給付適正化に努める。